

令和2年度大阪府立堺東高等学校  
 全日制の課程 総合学科 教育課程実施計画

1 総表(教科・科目等履修単位数)

教科		入学年度	R2				備考
		学級数	6				
		年次	I年次	II年次	III年次	計	
科目							
学校必修科目	国語	国語総合	2・3			7	前後期分割認定
		(学)精選国語		2			
	地理 歴史	世界史A	2			4or6	△の中から1科目選択 前後期分割認定 日本史B、地理Bは4単位履修
		日本史A		2△	2△		
		日本史B		2△・2△			
		地理A		2△	2△		
		地理B		2△・2△			
	公民	現代社会	2			2	
	数学	数学 I	3			5	
		数学A	2				
	理科	科学と人間生活				6	◎の中から1科目選択 前後期分割認定
		物理基礎		2◎			
		化学基礎	1・1				
		生物基礎	1・1				
		地学基礎		2◎			
	保健体育	体育	1・2	1・1	1・1	9	前後期分割認定
		保健	1	1			
	芸術	音楽 I	1□	1□		2	□の中から1科目選択 II年次は前期に開設
		美術 I	1□	1□			
		書道 I	1□	1□			
外国語	コミュニケーション英語 I	2・2			7	前後期分割認定	
	コミュニケーション英語 II		2				
	(学)英文法基礎	1					
家庭	家庭基礎	1・1			2	前後期分割認定	
情報	社会と情報		1・1		2	前後期分割認定	
小計			30	12～16	2～4	46～48	
原則履修科目	学 総合	(学)産業社会と人間	1・1			2	「夢チャレンジ I」
	小計			2		2	
学校必修科目合計			32	12～16	2～4	48～50	
総合学科選択科目合計			0～2	14～20	27～31	43～50	
教科・科目の計			32～34	30～32	31～33	93～98	集中講座を含む
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3	
総合的な探究の時間				1・1	1	3	「夢チャレンジ II」
総計			33～35	33～35	33～35	99～104	集中講座を含む

セル: E39

コメント: 国5+世2+現社2+数5+理基4+保体4+芸1+英4+英文法1+家2+産社2=32

セル: F39

コメント: 最小は国2+理2+保体3+芸術1+英2+情報2の12  
最大は上に加えて地歴B4

セル: G39

コメント: 最小は体育2  
最大は+地歴2

セル: H39

コメント: 最小は、1年32+2年14(12)+3年2(4)=48  
最大は、上に加えて地歴科でBをとった場合の増分2

セル: E40

コメント: 0か歴史探訪1・大阪のまちめぐり1の合計2

セル: F40

コメント: 最小は、 $32-2(\text{総学})-16(\text{必修最大値})=14$   
最大は、 $32-2(\text{総学})-12(\text{必修最小値})+2$   
(歴史探訪、施設実習成人)=20

セル: G40

コメント: 最小は、 $32-1(\text{総学})-4(\text{必修最大値})=27$   
最大は、 $32-1(\text{総学})-2(\text{必修最小値})+1(\text{施設実習成人または施設実習保育、マリン実習1})=31$

セル: H40

コメント: 最小は、 $(32+30+31)-50(\text{必修最大値})=43$   
最大は、 $(32+30+31)-48(\text{必修最小値})+5(\text{歴史探訪、施設実習成人、施設実習保育、大阪のまちめぐり、マリン実習})=50$

セル: E41

コメント: 最小は、 $32+0=32$   
最大は、 $32+3(\text{歴史探訪1・堺フィールドワーク1})=34$

セル: F41

コメント: 最小は  $(50(2週\の\駒数)-2(HR)) \div 3 - 1(\text{総学}) = 15$ の前後期  
最大は上記+2(歴史探訪、施設実習成人)

セル: G41

コメント: 最小は  $(50(2週\の\駒数)-2(HR)) \div 3 \times 2(\text{前後期}) - 1(\text{総学}) (=3+28)$   
最大は上記+2  
(施設実習成人または施設実習保育、マリン実習1)(=3+29)

セル: H41

コメント: 最小は、 $32+30+31=93$   
最大は、上記+5(歴史探訪、施設実習成人、施設実習保育、大阪のまちめぐり、マリン実習)